

「実録！現代の世とこれからの未来は・・・」

2020年3月にコロナが蔓延し始めて以来、世の中は一気に加速しました。ZOOM やリモートなどは日常語となり、テレワークで仕事が完結する世界があることを知りました。家での食事、海外から進出した「Uber系」が当たり前となり、「出前」などという言葉は「出前館」がなければZ世代後半の方々は知らなかったかもしれません(笑)。私のメンターである小阪裕司先生も、「これ(コロナ)は大きな社会変化をもたらすきっかけとなり、未来が前倒しされ、元に戻ることは決してないだろう」とおっしゃっております。そしてその変化に拍車をかけるかの如く、まさかの戦争・・・からの円安。このAIが押し寄せ、DXによる効率化を取り込む現代において、この規模の戦争が起こるなんて、結局「人は全然変わっていない(進歩していない)」のかと、とてもショックの毎日です。たださえ、日本のこれからの未来は、その人口動態においてミドル層(中流層)が減少することが確実視されております。「創る」「買う」という経済の発展を遂げてきた層が確実に減っていきます。すると消費者は今まで以上に選別して物を買う時代になります。そう、時と場所を選び、どのお金と時間の遣い方がより価値があるかを真剣に考えるのです。これまでのやり方と在り方では通用しない時代がきました。その証拠に、コロナ禍でしっかり学んだ企業で、今年に入り毎日満席の飲食店も増えてきました。これからさらに、当社の商品も進化します！価値を上げます！価値を伝えます！さあ、共に未来を照らしていきましょう^^

速報！娘たちから学んだ「目標」の意味と価値

先月、私の娘がお世話になっている高校の、硬式テニス部団体女子が、学校創立以来初となる悲願の「全国制覇」を成し遂げました(号泣)。シングルス×3、ダブルス×2と戦い、先に3勝した学校が勝ち上がり、トーナメントの頂点に立った1校だけが手にする栄冠です。全国6,000校ともいわれている中のトップです。おかげさまで娘はダブルスの後衛で出させて頂き、活躍する場も経験させて頂きました。私も会社の皆さんに後押ししてもらい、博多の森にて1回戦から応援させて頂くことが出来ました^^ 我々社会人は、目標というと直ぐに「数字」が脳裏を過ります。いや、もしかしたらその大半は「数値目標」しか掲げないかもしれません^^; しかし、娘たちは「全国制覇」を目標にしました。そう、「夢」ではなく「目標」に・・・。息子も高校時代、甲子園出場を目標にしていた寮生活。誰にも言われずに夜中までバットを振っていたようです。実際、私も社会において「数値目標」はあって然りかと思えます。目指すところが明確になりますからね。でも、もっと大切なのは、その先に何があるかが観えることかもしれません。私ももっと観せなきゃ汗



終わりに皆様、今号も最後までお付き合いくださり、有難うございました。まさか、今号を執筆している今日も、戦争が終わっていないなんて・・・。こんな時こそ、我々の手で少しでも明るい未来を提案しましょう。皆さんがマル通で心待ちにして下さっている、当社スタッフのゆうきさんのコーナー。年内には産休明けで全快復帰する予定でありますので、もうしばらくお待ちください^^ それでは、私とはまた次号でお会いしましょう！

ホームページで
バックナンバー
配信中！



先日伺った那須ガーデンアウト
レット内にあるお客様。スタッフ
の皆様もレイアウトも元気いっ
ぱいです。是非足を運んでね^^

